



いのちとくらしをまもる
防災減災



令和3年3月22日

国土交通省中部地方整備局

庄内川河川事務所

中日本高速道路株式会社名古屋支社

名古屋保全・サービスセンター

名古屋高速道路公社

高速道路管理者との災害協定を締結し「流域治水」を推進

～災害時の庄内川河川堤防等の復旧のための高速道路区域の一時使用に関する協定～

国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所は、中日本高速道路株式会社名古屋支社名古屋保全・サービスセンター及び名古屋高速道路公社と、河川の堤防等が被災し大規模な浸水被害が発生した際の、河川堤防等の早期復旧に必要な資機材を高速道路より直接堤防へ搬入が可能となるよう、高速道路区域の一時使用に関する協定を締結しました。

1. 締結日

令和3年3月15日（月）：中日本高速道路株式会社名古屋支社名古屋保全・サービスセンター

令和3年3月19日（金）：名古屋高速道路公社

2. 本協定による資機材搬入のイメージ

別添1参照

3. 一時使用想定箇所

別添2参照

4. 締結式の様子

別添3参照

5. 配布先

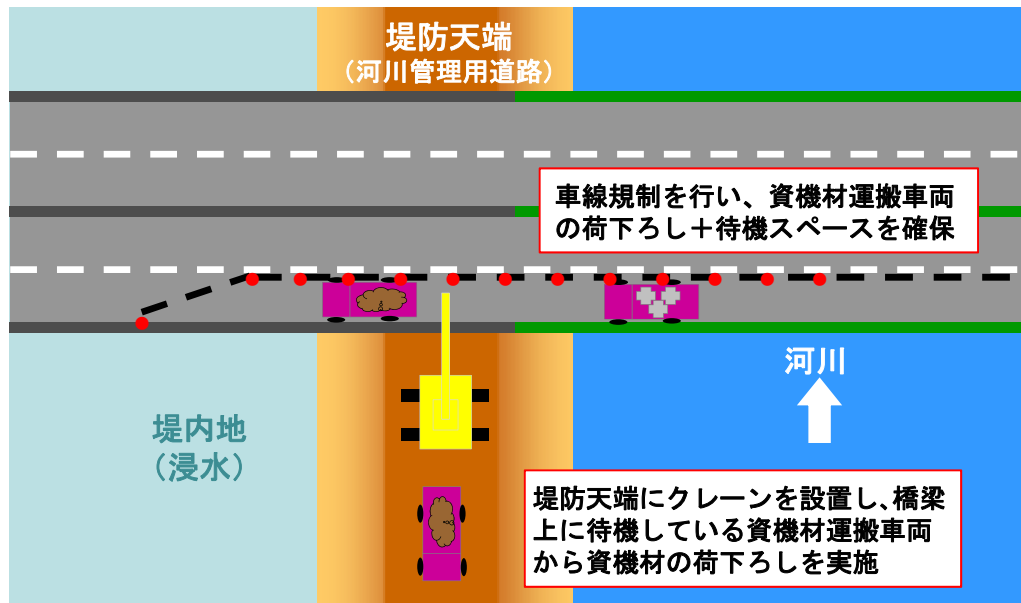
中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、多治見市政記者クラブ、恵那記者会

【問い合わせ先】

庄内川河川事務所 副所長（調査） 日置 龍朗

調査課長 佐伯 勇輔 電話（052）914-6713

- 庄内川中・下流部で河川堤防が決壊した場合、浸水は広範囲に及び、堤防を締め切らない限り浸水が継続し社会経済活動に与える影響は甚大なものになると想定されます。
- このような大規模浸水時には、堤防復旧箇所へのアクセスが困難になることが想定されることから、復旧に必要な資機材を高速道路より堤防へ直接搬入することにより、資機材の調達・補給手段を確保し、堤防復旧の迅速化を図ります。



高速道路より堤防への資機材搬入イメージ



高速道路にクレーンを横付けし資機材を荷降ろし



高速道路と堤防天端道路の立体交差部
 (写真上：庄内川左岸19.4k+202m付近
 写真下：庄内川右岸32.4k-86m 付近)

一時使用想定箇所



NO.	位置	交差する高速道路	管理者
01	8.8k+40m	名古屋高速5号万場線(万場大橋)	名古屋高速道路公社
02	15.8k+75m	名古屋高速6号清須線(赤とんぼ橋)	名古屋高速道路公社
03	19.4k+202m	名古屋高速1号楠線(新川中橋)	名古屋高速道路公社
04	25.8k-65m	名古屋第二環状自動車道(庄内川橋梁)	中日本高速道路株式会社
05	32.4k-86m	東名高速道路(庄内川橋梁)	中日本高速道路株式会社

「災害時の庄内川河川堤防等の復旧のための 高速道路区域の一時使用に関する協定」締結式



いのちと暮らしをまもる
防 災 減 災



国土交通省

別添 3

国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所は、中日本高速道路株式会社名古屋支社名古屋保全・サービスセンター及び名古屋高速道路公社と、河川の堤防等が被災し大規模な浸水被害が発生した際の、河川堤防等の早期復旧に必要な資機材を高速道路より直接堤防へ搬入が可能となるよう、高速道路区域の一時使用に関する協定を締結しました。

中日本高速道路株式会社名古屋支社 名古屋保全・サービスセンターとの締結式



中日本高速道路株式会社 名古屋支社
名古屋保全・サービスセンター所長 庄内川河川事務所長

締結日：令和3年3月15日(月)

会 場：中日本高速道路株式会社名古屋支社
名古屋保全・サービスセンター会議室

名古屋高速道路公社との締結式



庄内川河川事務所長 名古屋高速道路公社理事長

締結日：令和3年3月19日(金)

会 場：名古屋高速道路公社会議室